

| | | | | | | |
|-----------------|---|--|------|-----------------------|-----------------------|---------------------------------------|
| 科目名 | グローバルシティズンベーシックⅡ | | | | | |
| 科目名(英) | Global Citizen Basic Ⅱ | | | | | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15時間 | 担当者 | 三浦 匡治 | |
| 実施年度 | 2019年度 | 実施時期 | 前期 | 実務家教員 担当科目 | | |
| 対象学科・学年 | 自動車工学機械設計科 2年 | | | | | |
| 授業概要 | 志の教育は、1人1人が1度の人生を無駄にせず価値あるものにする事で、自分の人生を豊かにしていくためにあります多くの成功者は、「人生は思い描いて、そのビジョンに向けて行動し続けることで現実となる」と伝えています。成長するためには、まさにこのような強い思いを抱いて行動すること、すなわち志を立てることが大切であるため、志が立てば、働く意味や学ぶ意味も自分でしっかりと考えるようになり、就職動機や将来のキャリアビジョンを思いがこもった自分の言葉で表現できるようになります。 | | | | | |
| 授業形式 | 講義: | <input type="radio"/> | 演習: | | 実習: | |
| | | | | | 実技: | |
| | ※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/> | | | | | |
| 学習目標 (到達目標) | 言語情報 | 知的技能 | 運動技能 | 態度意欲 | その他 | 目標 |
| | | | | <input type="radio"/> | | 自らの志について考えることの大切さを知り、自分の言葉で伝えることができる。 |
| | | | | <input type="radio"/> | | 目標の大切さ、志の大切さを知り、立てた志に向け行動することができる。 |
| | | | | | | |
| テキスト・教材 参考図書 | グローバルシティズンベーシックⅡ (学生用テキスト) | | | | | |
| 授業計画 | 回数 | 授業項目・内容 | | | | 授業外学修指示 |
| | 1 | 第1講座「グローバルシティズンと志」 ～志とは何か。どのようにすれば志を立てることができるのか～ | | | | |
| | 2 | 第1講座「グローバルシティズンと志」 ～志とは何か。どのようにすれば志を立てることができるのか～ | | | | レポートを書いておくこと |
| | 3 | 第2講座「なぜ志を立てることが大切なのか」 ～世界の中の日本。日本の中の私。①～ | | | | |
| | 4 | 第2講座「なぜ志を立てることが大切なのか」 ～世界の中の日本。日本の中の私。①～ | | | | レポートを書いておくこと |
| | 5 | 第3講座「自己を知る」 ～私の過去・現在・未来～ | | | | |
| | 6 | 第3講座「自己を知る」 ～私の過去・現在・未来～ | | | | レポートを書いておくこと |
| | 7 | 第4講座「伝える力」を学ぶ(1) ～「個」としての伝える力を高める(自分の言葉で自分の思いと考えを伝える)～ | | | | |
| | 8 | 第4講座「伝える力」を学ぶ(1) ～「個」としての伝える力を高める(自分の言葉で自分の思いと考えを伝える)～ | | | | レポートを書いておくこと |
| | 9 | 第5講座「伝える力」を学ぶ(2) ～グループコミュニケーション(勇気と思いやりをもって言葉のキャッチボールを) | | | | |
| | 10 | 第5講座「伝える力」を学ぶ(2) ～グループコミュニケーション(勇気と思いやりをもって言葉のキャッチボールを) | | | | レポートを書いておくこと |
| | 11 | 第6講座「与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる」 ～言葉の力とプロ意識に学ぶ～ | | | | |
| | 12 | 第6講座「与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる」 ～言葉の力とプロ意識に学ぶ～ | | | | レポートを書いておくこと |
| | 13 | 第7講座「自己の大切さと責任を自覚する」 ～世界の中の日本。日本の中の私。②～ | | | | |
| | 14 | 第7講座「自己の大切さと責任を自覚する」 ～世界の中の日本。日本の中の私。②～ | | | | レポートを書いておくこと |
| 15 | 第8講座「GCBⅡ」を受講して、私が感じたこと、気づいたこと、学んだこと | | | | | |
| 評価方法 | (1) 受講後には毎回レポートを提出する。 (2) 成績評価基準は、出席率、レポート提出状況を評価し、R(単位取得)・D(単位未取得)認定とする。 | | | | | |
| | | 言語情報 | 知的技能 | 運動技能 | 態度・意欲 | その他 |
| | 出席率・レポート提出状況 | | | | <input type="radio"/> | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 履修上の注意 | | | | | | |